

# きょうさいだより



佐世保共済病院写真コンテスト作品 優秀賞 野中泰隆氏【満開の花ショウブ】

## 理念

博愛の精神  
人の和  
自己研鑽

## 目標

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療をめざします。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療をめざします。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合う心をもって診療に努めます。

## I N D E X

- 院長挨拶、副院長就任のあいさつ ..... p.1
- 内科部長就任のあいさつ、3階北病棟紹介 ..... p.2
- 診療活動の現況 ..... p.3
- 新採用医師の紹介、TOPICS ..... p.5
- 「佐世保共済病院市民公開講座」開催のお知らせ、職場紹介、編集後記 ..... p.6
- 外来診療担当表 ..... p.7

# ごあいさつ

ふく い まさ し  
院長 福井 仁士



私が佐世保に赴任して2年を過ぎました。その間に近在のいくつかの遺跡を散策ついでに見物しました。まず吉井町の福井洞穴ですが、これは中期旧石器時代の遺跡の一つで、それに続く後期旧石器時代、縄文早期からの遺跡としては、佐世保市松瀬町の岩下洞穴、瀬戸越町の泉福寺洞窟などがあります。また最近は菰田洞穴が発掘され、これも岩下洞穴と同じ頃からの遺跡であることが分かってきました(佐世保市教育委員会、菰田洞穴発掘調査報告書)。

泉福寺洞窟の近くには堺木の眼鏡岩がありますが、これは海岸の波の浸食作用で岩に穴ができ(海食洞穴)、その後隆起して生じたと考えられます。泉福寺洞窟に住んでいた人たちは、裏山で狩りをし、近くの海岸で魚介を取り生活していたのでしょう。現在の佐世保市の住民のなかには3万年前の福井洞穴、1万年前の岩下洞穴、泉福寺洞窟に住んでいた人たちの子孫が混じっているであろうと想像します。

現在の世の中はあまりに変化のテンポが速く、また、いろいろな出来事は人類存亡に関わる危険をはらんでいるように思えます。不安と緊張の毎日ですが、時には古代の佐世保、北松地区の遺跡を訪ねて、長い人の歩みに思いを馳せるとことも気持ちの整理によいかもかもしれません。



写真:佐世保市の山間を散策中に見つけた鹿の子百合

## 副院長就任のあいさつ

新副院長 木寺 義郎



き であ よしろう  
木寺 義郎

- 出身地 佐賀県九州大学医学部卒業
- 主な職歴
  - ・昭和54年九州大学産婦人科助手
  - ・昭和57年佐賀医科大学産婦人科助教授
  - ・平成14年佐世保共済病院診療部長就任
- 専門領域 婦人科腫瘍一般・細胞診断学
- 所属学会
  - 日本婦人科腫瘍学会
  - Int. Academy Cytology
  - Int. Gynecol. Cancer Soc.

4月から産婦人科部長兼任の副院長に就任しました。

当院はこれまでも診療所や病院から多数の患者さんをご紹介頂いて、地域の中核病院としての役割を果たしてきました。また昨年より新たに臨床病理検討会を開催するなど院内合同のカンファレンスも増やして、医師会の先生方とのコミュニケーションにも努めております。

ちなみに当院はまだ病院機能評価の認定を受けておりませんが、認定の条件の中には地域の医療施設などとの連携を促進することや情報の提供、広報活動および地域の健康増進に寄与する活動などが求められております。これまでこれらの活動が当院で積極的に行われていたかということ、少なくとも私個人については反省しなければならないところです。今後は、例えば院内合同カンファレンスを学習の場としてだけでなく、ご紹介頂いた患者さんの病状を説明する機会に利用するなど、医療連携の環境を整えていくように努力をしていきたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。



はやしだ かずひろ  
林田 一洋

- 出身地 福岡県  
九州大学医学部卒業
- 主な職歴
  - ・昭和60年  
九州大学医学部第一内科助手
  - ・昭和63年  
米国DNAX研究所勤務
  - ・平成11年  
九州大学医学部併任講師
  - ・平成15年  
佐世保共済病院内科部長
- 専門領域  
肝疾患・消化器疾患
- 所属学会  
日本内科学会  
日本消化器病学会  
日本肝臓学会

本年4月より内科部長として赴任いたしました。

医学と医療の進歩は著しく昨日の常識が通用しないことがあります。また医療行為の変化に伴い意識改革も必要になっています。内科でも多くの観血的手技に対して十分なインフォームドコンセントが必要で、説明不足は医療不信を招きます。特にセカンドオピニオンへの対応は経験に基づいた回答ではなく、Evidence based Medicineに基づいた説明が必要です。間もなく共済病院でも医療事務の電算化でスピードアップが期待されますが、情報保全のために正確な発生源入力が必要になるでしょう。

しかし医療の変革は患者さんのためにあるべきもので、共済病院の理念にある博愛の精神、人の和、自己研鑽は変わるものではありません。内科は病院の中で一番大きな所帯であり、全科の患者さんと深く関係してきます。コメディカルスタッフの皆さんや他科の先生とも協力しあって今後も内科全員でがんばっていきますので宜しくお願い致します。

### 3階北病棟紹介

病棟主任 広瀬 純子

当病棟は泌尿器科・皮膚科・耳鼻咽喉科の46床の混合病棟ですが、今回は泌尿器科について紹介させていただきます。病棟には看護師17名・看護助手4名の明るく元気なスタッフがそろっていて、そのせいか患者さんも明るい方が多いようです。入院期間は前立腺生検・真性包茎の手術など2泊3日のものをはじめ、長い入院でも2～3週間と比較的短く忙しい日々です。最近は高齢の方の手術も増えて、術後の尿道カテーテルの管理に頭を痛めることが多くなりました。子供さん以外は、ほとんどの方が術後、カテーテルを留置して帰室して来られますが、安静のはずが何故か廊下に立っておられたり、見慣れぬ管に何事かと思いきり引っ張られたりと、手術当日の夜勤者の心労は大変なものです。翌朝の回診時、血尿が無いときはほっと胸をなでおろします。また、治療によっては少し長い期間カテーテルを留置しなければなりません。しかし、患者さんにとっては余計なものようでポンと床に放り出されたり、大事に胸の高さで抱えて歩かれたりと、「おしっこ」にまつわる悩みは尽きません。衛生的な面から見ても決して良い話しではありませんので、長期間カテーテルを留置する患者さんのウロバッグは紙袋に入れるなどして、感染症の予防とQOLの向上を図りたいと考えています。



3階北病棟スタッフ(前列左から2番目が広瀬主任)



**I はじめに**

泌尿器科の診療分野としては、尿路(腎・尿管・膀胱・尿道)、男性生殖器(前立腺・精嚢腺・精巣)、副腎等の疾患が対象になります。泌尿器科疾患の最近の特徴として男性では前立腺癌を含む前立腺疾患、女性においては尿失禁に悩まれる方が増加しています。また性に関しての相談も多くみられるようになっていきます。

**II 当科の紹介**

当院泌尿器科は昭和30年に開設され、現在計4名のスタッフが診療にあたっております。

当科の基本姿勢として出来る限り患者さんサイドにたつことをモットーにし、その為に外来初診時に出来る限りの検査を行って速やかに治療に移行できるように努めております。

**III 診療実績および治療方針の概略**

2001年度の年間外来患者数は16,517名(1日平均67.7名)、入院患者数は560名でした。別表に入院時疾患と手術件数の内訳をお示するとともに、主な疾患に対する治療方針の概略をご説明いたします。(表1)

(表1) 2001年度入院症例診断名

悪性腫瘍	例数	良性疾患	例数	良性疾患	例数
1.前立腺癌	45例	1.尿管結石	118例	7.腎嚢胞	16例
2.膀胱癌	86例	2.前立腺肥大症	72例	8.陰嚢・精索水腫	15例
3.腎癌	7例	3.腎結石	67例	9.神経因性膀胱	14例
4.腎盂尿管癌	17例	4.包茎	53例	10.カルンクルス	8例
5.精巣腫瘍	2例	5.腎盂腎炎	22例	11.尿道狭窄	7例
6.その他	1例	6.膀胱結石	17例	12.精巣上体炎	5例

**① 尿路結石**

当科では1990年4月からESWL(体外衝撃波碎石術)を県北で最初(長崎県では3番目)に導入し、上部尿路結石の治療に使用してきました。現在は第4世代のモデュリス2000を使用し、低侵襲性と破砕効果の向上を図っております。年間800~900件を行い、長崎県内で最多、九州でも上位に入る症例数を誇っております。できるだけ外来ESWLを行うことをめざしており、全体の50%を占めております。

**② 悪性腫瘍**

i) 前立腺癌 前立腺癌の腫瘍マーカーであるPSA(前立腺特異抗原)を測定することにより、より早期の前立腺癌を発見出来るようになりました。佐世保市では2003年5月より50歳以上の男性に対して前立腺癌検診が開始され、当科はその二次検診指定病院となっております。年齢、癌の組織型や浸潤度等から、内分泌療法・手術(前立腺全摘除術)・放射線療法・化学療法などの治療法を選択しています。当科の特徴として、局所浸潤癌に対して放射線科の協力のもとに初期動注化学療法と放射線外照射を施行しています。

ii) 膀胱癌 表在性膀胱癌に対しては経尿道的手術を選択し、術後に制癌剤の膀胱内注入を行っております。ただし悪性度の高い症例や広範囲に腫瘍病変が存在する症例に対しては予防的に動注化学療法を追加し、良好な成績を収めています。

浸潤性膀胱癌に対しては患者さんのQOLを考慮して放射線治療を併用した動注化学療法を行い約75%の有効率を上げています。しかしながら無効と判断された場合には速やかに膀胱全摘出術および回腸導管造設術を行っております。

iii) 腎細胞癌 基本的には根治的腎摘出術を行っていますが、年齢や病状によっては単純腎摘出術も行っています。最近では腫瘍の局在部位や大きさによっては腎部分切除術も行っています。また進行症例に対して、長崎大学との共同研究でインターフェロンとインターロイキン2の併用による免疫療法も行っています。

### ③前立腺肥大症

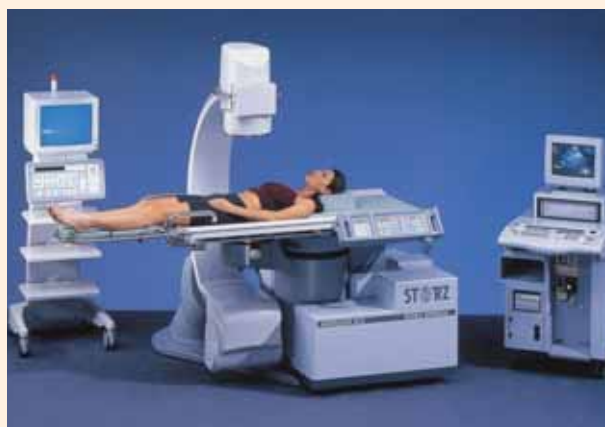
泌尿器科を受診される男性患者さんで最も多い疾患が前立腺肥大症です。最近 $\alpha$ 1-ブロッカーの登場で排尿障害は劇的に改善するようになりましたが、やはり根治的な治療としては手術となります。以前は肥大の著しい症例に対して開腹手術を行うのが主流でしたが、当科では侵襲を軽減するために可及的に経尿道的手術を行うようにしております。また、重篤な合併症のために手術が行えない場合には尿道ステント留置を行い、尿道カテーテルから解放されるようにも努めております。

### ④尿失禁

高齢化社会を迎えて急増してきている疾患が尿失禁です。尿失禁の病因にも種々ありますが、最も多いものは女性の腹圧性尿失禁です。その原因は、加齢・多回出産・肥満・腹部手術等による骨盤底筋群の脆弱化にありますので、軽度の症例に対してはまず骨盤底筋群体操を実践して頂くようにするとともに抗コリン剤を内服して頂いております。重度の症例に対しては尿道内ペースト注入や尿道吊り上げ術などを行っております。日本女性の場合羞恥心が強いこともあって年齢の為と思っておられる方が多いのですが、あきらめずに一度当科を受診されることをおすすめします。

### ⑤ED(勃起障害)

以前はタブー視されがちであったEDを含めた性的問題に関しても、情報の浸透や「バイアグラ」という薬剤の発売とともに一つの社会問題に取りあげられるまでになってきています。当科におきましても、ご相談をうかがった上での確かなアドバイスが出来ればと考えております。



(表2) 2001年度 主要手術内訳 総数1,387件

手術名	例数	手術名	例数
1.ESWL	885例	6.背面切開	39例
2.尿管ステント留置	93例	7.TU-L	24例
3.TUR-Bt	60例	8.精巣固定	17例
4.前立腺生検	60例	9.経尿道的膀胱碎石	14例
5.TUR-P	51例	10.腎摘	10例

ESWL :体外衝撃波碎石術  
TUR-Bt:経尿道的膀胱腫瘍切除術  
TUR-P :経尿道的前立腺切除術  
TU-L :経尿道的尿管碎石術

診療案内

●外来診療日

月曜～金曜 午前中



# 新採用医師の紹介

①出身大学・卒業年 ②在籍医局 ③専門領域 ④出身地 ⑤趣味・その他一言



むら かみ きん し ろう  
**〔内 科〕** 村上 謹士郎

- ① 帝京大学・平成3年
- ② 福岡大学 第二内科
- ③ 循環器
- ④ 長崎県
- ⑤ 見た目どおりの癒し系です。



ひら き あき みつ  
**〔歯科・口腔外科〕** 平木 昭光

- ① 九州大学・平成6年
- ② 九州大学 顎顔面口腔外科
- ③ 歯科・口腔外科
- ④ 福岡県
- ⑤ 野球・映画が好きです。



いま さと ひろ き  
**〔泌尿器科〕** 今里 祐之

- ① 長崎大学・平成7年
- ② 長崎大学 泌尿器科
- ③ 泌尿器科一般
- ④ 福岡県
- ⑤ よろしくお願いします。



お ぐす ゆう こ  
**〔皮膚科〕** 小楠 優子

- ① 佐賀医科大学・平成8年
- ② 佐賀医科大学 皮膚科
- ③ 皮膚科一般
- ④ 山口県
- ⑤ 音楽鑑賞など。よろしくお願いします。



さ さ き かず し  
**〔整形外科〕** 佐々木 和司

- ① 鹿児島大学・平成9年
- ② 九州大学 整形外科
- ③ 整形外科一般・脊椎外科・関節外科
- ④ 福岡県
- ⑤ 北海道生活が長く詠りがありますが、よろしくお願いします。



き むらゆうすけ  
**〔外 科〕** 木村祐介ノーマン

- ① 久留米大学・平成9年
- ② 久留米大学 外科学教室
- ③ 外科一般
- ④ 福岡県
- ⑤ よく名前について聞かれますが、アメリカ生まれで13歳頃までおりました。



なか やま いく え  
**〔産婦人科〕** 中山 幾恵

- ① 久留米大学・平成11年
- ② 九州大学 産婦人科
- ③ 不妊・内分泌
- ④ 福岡県
- ⑤ 陶磁器が好きです。産地に近いので楽しみにしています。



すえ ふじ のぶ こ  
**〔放射線科〕** 末藤 伸子

- ① 佐賀医科大学・平成12年
- ② 久留米大学 放射線科
- ③ 放射線科一般
- ④ 熊本県
- ⑤ 散歩が好きです。

## TOPICS 「佐世保共済病院 転倒予防教室」のご紹介

我が国は今や世界一の長寿国となり御同慶の至りですが、高齢者の骨折も急激に増加する傾向にあり問題になっています。特に高齢者では骨折の直接の原因のほとんどが転んだことによるということが分かっていますので、骨折の予防の為に転倒しない丈夫な足腰を鍛えましょうというのがこの教室の趣旨です。第1期教室は4月から開始しました。

受講者の皆さんは先ず健康診断・健脚度測定などの検査を受けた後に、週1回のペースで6回にわたってバランス訓練・筋肉強化・機敏性を養う訓練などのコースに取り組んでいます。ボールゲームやシーソー板など遊びの要素を多く取り入れてありますので大いに楽しみながら頑張っておられるようです。

2ヶ月間の体験を通して家庭での運動習慣・正しい姿勢や歩き方、住環境を整える智恵などを身につけて頂けることでしょう。

第2期以降は9月から始まる予定ですので足腰に不安のある方はふるって御参加下さい。

(資料及び申し込み用紙は当院リハビリテーション科窓口にて用意してあります。)

(内線1523)



訓練風景

## 「佐世保共済病院市民公開講座」開催のお知らせ

- 日時：平成15年8月9日(土)13:00～17:00
- 場所：アルカスSASEBO(佐世保市三浦町)中ホール
- テーマ：消化器外科の現状と将来

参加費  
無料

### 〈演者と演題〉

1. 九州大学第二外科 前原喜彦教授…「食堂および胃の外科」
2. 九州大学第一外科 田中雅夫教授…「十二指腸および膵臓の外科」
3. 名古屋大学第一外科 二村雄次教授…「胆道の外科」
4. 佐世保共済病院外科 江里口直文部長…「大腸の外科」
5. 国立病院長崎医療センター外科 古川正人博士…「五島に多い肝内結石」
6. 長崎大学第二外科 兼松隆之教授…「肝臓の外科」

一般の市民の方々にも参加していただける講座となっております。  
皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

## 職場紹介 一売店・食堂一

佐世保共済病院厚生会 南部 美保子

### Q どんな職場ですか？

A 病院1階にあるプチコンビニ的売店と一般の方も気軽に利用できる食堂です。売店4名、食堂5名の職場です。

### Q 気をつけていること、工夫していることは？

A 食堂は新鮮な旬の食材を朝市で仕入れお客様に提供しています。売店は患者さんが外出しなくてもいいように日用品から食料品まで商品を取り揃えて販売しています。最近では動けない患者さんのためにワゴンサービスも実施しており好評を得ています。

### Q 工作上、苦労していることは？

A 4月から院内自販機の空缶回収を行っていますが、中に生ゴミ・飲み残し・たばこの吸い殻などが入っていることがあり分別に苦労します。皆さんも空缶には何も入れないようご協力をお願いします。

### Q うれしかったことは？

A 朝市で顔を覚えられて、仕入れの際にお店の方から「良い食材があるよ」と声を掛けられるようになったことです。

### Q おもしろいエピソードなど

A ご老人が紙おむつを買いに見えた時のこと。商品をお渡ししたのですが、店内で「ちょっとはめてくれんね!」と言われてエーツ!…。あわてて外来師長さんを探しました。

### Q 最後に一言

A これからも「誰もが利用しやすい売店・食堂」を目指して行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

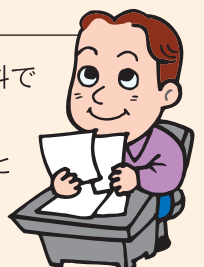
(インタビュアー／編集委員 森博紀)



## 編集後記

今回の表紙写真、初夏の植物「花菖蒲」を辞書で引いてみると、花菖蒲はアヤメ科、菖蒲はサトイモ科で別科の植物であることを知りました。四季がはっきりしている日本だからこそ初夏と言えば花菖蒲と連想できますが、昔と比べ最近では異常気象で四季の変わり目がわかりにくくなってきていると言われています。環境問題を真剣に考え「日本古来の美しい四季」を後世に残していきたいものです。

編集委員 森 博紀



科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内科	部長	林田 一洋			●		●				●		肝臓・消化器疾患	
	医長	福山 邦昭	●				●		●				肝臓・胆嚢・膵臓疾患	
	"	佐藤 浩信			●		●				●		消化器疾患・膠原病	
	"	川崎 千誠	●		●				●				血液疾患	
	"	野口 誠司			●				●		●		肝臓・胆嚢・膵臓疾患・消化器疾患	
	"	松見 里美	●				●				●		消化器疾患	
	"	金子 武生	●				●				●		循環器疾患	
	医員	大塚 容子	●						●		●		腎臓疾患	
	"	村上 謹士郎			●				●		●		循環器疾患	
	"	石橋 貞利	●		●				●				消化器疾患	
	"	久間 文明			●		●		●				循環器疾患	
	"	原口 総一郎			●		●						腎臓疾患	
	"	松永 圭司	●								●		消化器疾患	
	呼吸器外来			●				●			(●)	九州大学・佐賀医科大学の呼吸器外来より交代で勤務		
	糖尿病教室				●		●		●			●	※詳細は内科外来へお尋ね下さい。	
小児科	部長	岡 尚記	●		●						●		小児一般	
	医長	田中 撰	●				●		●				小児アレルギー疾患	
	医員	原 美智子					●				●		気管支喘息	
	"	徳富 友紀			●				●					
		乳児健診				●								火曜PM1:00~
		慢性外来・神経外来							●					水曜PM2:00~
	喘息外来									●			木曜PM2:00~	
外科	外科顧問	松永 章							●				内視鏡下外科	
	部長	江里口 直文	(●)				●				●		※月曜は新患のみ受付	
	医長	松尾 敏弘	●				●						呼吸器外科・乳腺外科	
	"	田山 光介	(●)				(●)						呼吸器外科(平成15年7月まで)	
	医員	朽網 留美子			●				●				一般外科・消化器外科	
	"	田中 厚寿	●				●						血管外科	
	"	川畑 方博			●						●		一般外科・腹部エコー	
	"	原田 洋			●						●		一般外科・消化器外科	
"	木村 祐介ノーマン							●				一般外科・消化器外科		
"	柳 克司	●										一般外科・消化器外科		
脳神経外科	院長	福井 仁士	●				●						脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科	
	診療部長	山川 勇造							●		●		小児の神経外科、顔面麻痺	
	医長	濱田 康宏	●						●				三叉神経痛の外科手術	
整形外科	部長	萩原 博嗣	●				●				●		骨関節疾患全般	
	医長	久我 尚之	●		●				●				・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術	
	医員	芳田 辰也	●		●						●		・膝・肩・手・肘の鏡視下手術	
	"	寺本 全男	●		●		●						・脊椎外科、腰部疾患手術	
	"	佐々木 和司					●		●		●		・肩・手の外科(断肢再接着手術を含む)	
"	齊田 義和			●		●		●		●		・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など		
形成外科	医長	芳田 辰也	●		●						●		先天性奇形、顔面外傷、瘢痕形成、再建外科	
皮膚科	医長	井上 卓也	●	●	●		●		●	●	●		・湿疹、虫刺症、アレルギー性皮膚炎	
	医員	小楠 優子	●	●	●		●		●	●	●		・皮膚感染症・爪疾患、毛疾患 ・皮膚小手術(粉瘤、陥入爪など)(火・水・金)	
泌尿器科	部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患	
	医長	森 光浩	●						●		●		体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	
	医員	今里 祐之			●				●				尿失禁、尿路感染	
	"	松尾 朋博			●		●							
産婦人科	副院長	木寺 義郎	●				●				●		産科・周産期医療	
	医長	鶴地 伸宏	●		●		●		●				不妊症・内分泌疾患	
	医員	大塚 未砂子	●		●				●		●		体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術	
	"	中山 幾恵			●		●		●		●		更年期外来・婦人科疾患	
眼科	医長	小西 健一	●		●		●	●	●		●		白内障手術・眼内レンズ挿入術、緑内障手術	
	医員	小林 武史	●		●		●	●	●		●		硝子体手術、網膜剥離手術、翼状片手術 眼瞼手術、レーザー光凝固術など ※水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)	
耳鼻咽喉科	医長	後藤 弘毅	●		●		●		●	●	●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療	
	医員	林田 精一郎	●	●	●		●		●		●		小児の耳鼻咽喉科疾患 耳・鼻・咽喉頭・甲状腺などの手術	
放射線科	医長	大熊 一彰	●				●		●				MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	馬場 健吉			●								消化管造影、内視鏡検査	
	"	有川 俊二									●		内視鏡下手術(ポリープ切除)	
	"	末藤 伸子												
麻酔科	医長	深野 拓	●		●		●		●		●		※月~金午前ペイン外来	
	医員	北條 美能留	●		●		●		●		●		※月~金午後は手術麻酔	
	"	稲澤 昭子	●		●		●		●		●			
歯科 口腔外科	医長	平木 昭光	●	●	●	●	●	●	●	●	●		歯科・口腔外科 ※予約制	
神経内科	医員	黒川 智美									●		神経内科疾患一般	